

中国早期公開特許：外国出願人の動向

アジア特許情報研究会：伊藤徹男

1. はじめに

中国特許の早期公開についてはこれまで INFOPRO やセミナー、その他の場で機会あるごとに紹介してきました^{1), 2), 3), 4)}。そして、出願から 18 か月で公開される通常公開特許に対し、18 か月未満で公開されるものを「早期公開特許」とし、さらに出願から 6 か月未満で公開されるものを「超早期公開特許」と定義して解析してきました。

早期公開の目的が今 1 つ不明な状況ではあるが、中国では特許を公開することによってはじめて審査が着手されるので、日本や韓国のように公開前に登録になる特許はない。

早期公開によって審査を促進し、登録時期を早める、ということも考えられますが、必ずしも早期公開が早期登録特許に結びついているか、と言うとそうでもなさそうである³⁾。

特許の早期公開を積極的に実施しているのはほとんど内国出願人ですが、外国出願人はどうかについて検証してみたのが本稿です。

2. 早期公開および早期登録特許の最新動向

中国特許庁統計資料⁵⁾による出願推移を図 1 に、早期公開状況を図 2 に、さらに出願から 6 か月以内に公開された超早期公開特許の推移を図 3 に示した。

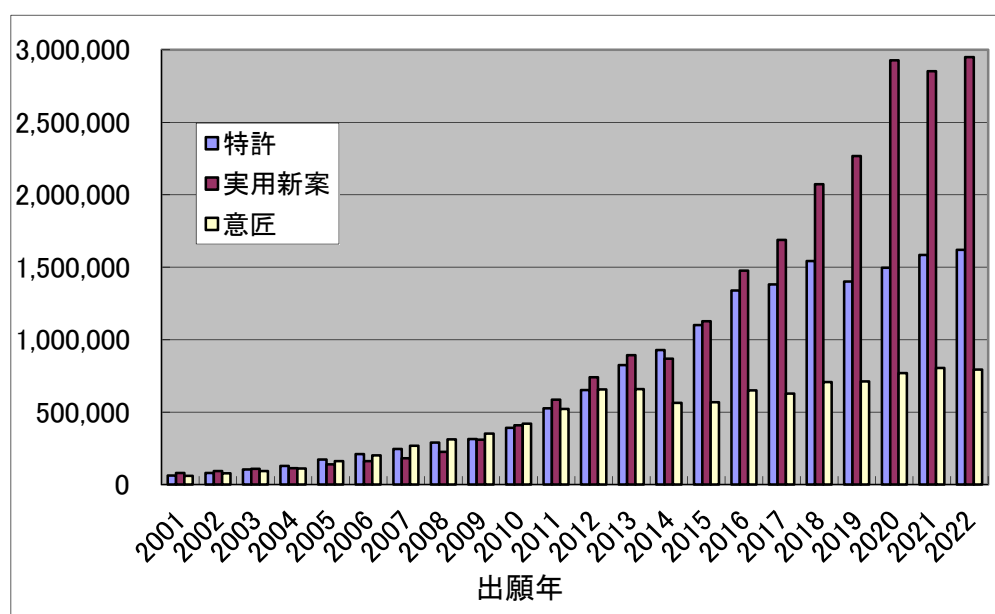


図 1. 中国専利出願推移 (CNIPA 統計情報¹⁾)

2019 年の特許出願の落ち込みについては、中国特許庁が「非正常出願」として行政

処分した影響ではないか、ということは既に考察した⁶⁾。

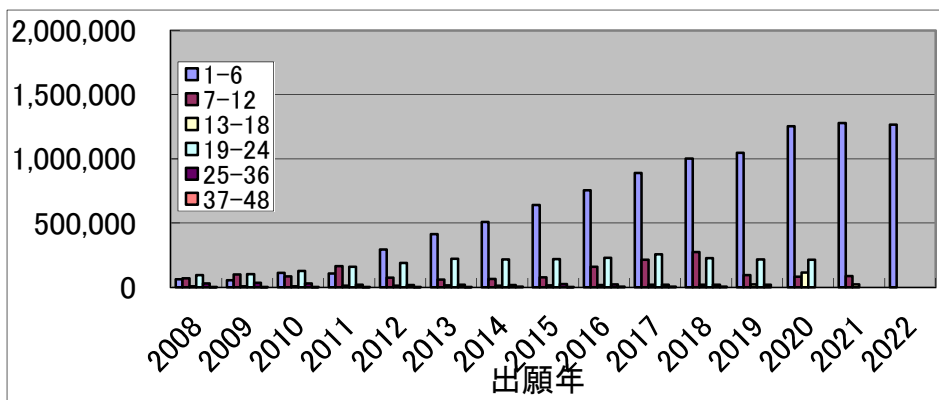


図2. 早期公開特許

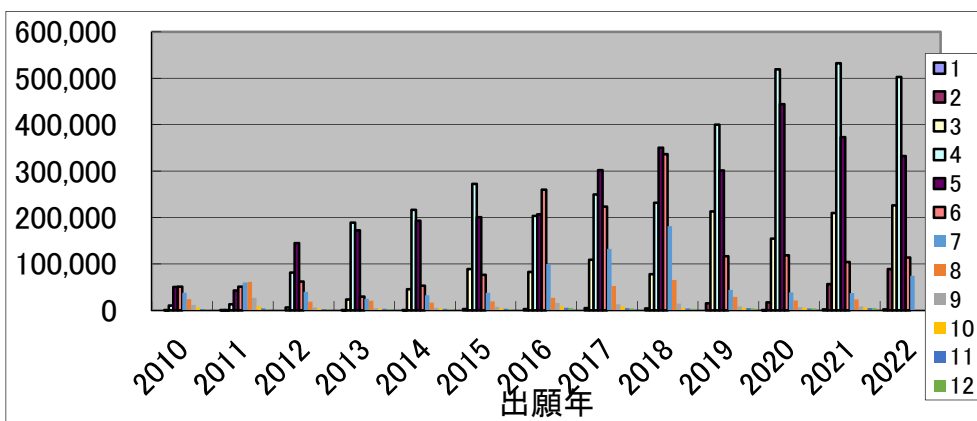


図3. 超早期公開特許

早期公開特許の増加に影響されて登録の時期も早まっているような気がします（図4）。

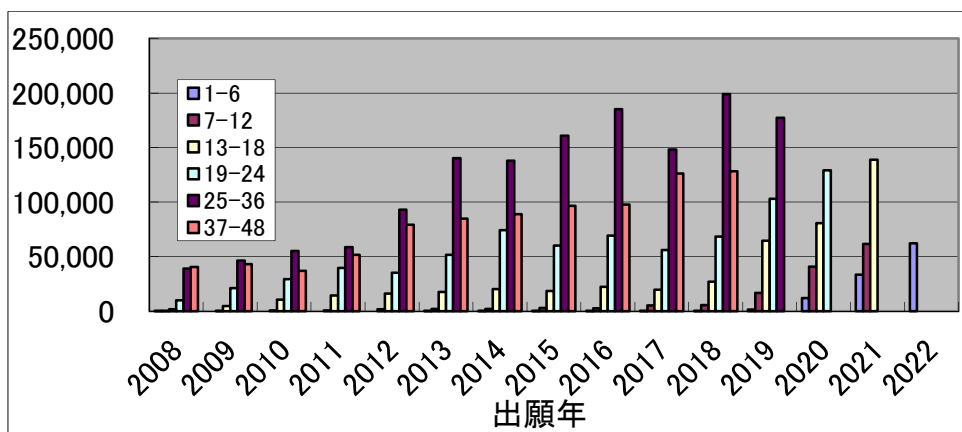


図4. 早期登録特許

3. 早期公開特許の外国出願人の動向

早期公開特許（超早期公開特許）のほとんどは内国出願人によるものですが、外国からの出願についてはどうでしょうか。

まず、外国出願人の出願動向を見てみましょう。ここでは出願動向といっても 2018 年以降の公開特許推移です。データベースから出願年で見ると直近の 2, 3 年の数値は早期公開特許が増えてきたとはいえ未公開特許があるために少なくなって、あたかも出願が減少しているかのようになるためです。その点、公開日からの公開特許数であれば検索した日によって数値が変化することはありません。

(1) 国別出願動向

まず、中国以外の国別の通常出願動向を概観したのち、超早期公開特許（出願～6 か月以内に公開される特許）について検証してみます。

次項以降の出願人データの取得は無料のワールドワイドな台湾特許庁データベース GPSS を利用しましたが、国コードによる国別比較では商用の CNIPR を使いました。

GPSS でも国コードが収録されていますが、その国コードは出願人フィールド中に含まれているため、2 桁の国コードでは中国語出願人の英訳から、あるいは英表記法人格からも抽出されてしまうため、CNIPR の国コード検索(CO)で抽出しました（表 1）。

GPSS の国コード抽出の問題点（国コードが出願人フィールド中に存在する）

LU（ルクセンブルク）

陆聆聆； LU LINGLING（CN）

SE（スウェーデン）

巴斯夫欧洲公司； BASF SE（DE）

AG（アンチグア）

西门子股份公司； SIEMENS AG（DE）

また、GPSS では、台湾も 2019 年以前は TW で抽出できましたが、2000 年以降は CN となって抽出できなくなっています。CNIPR でも以前は、台湾出願人が大陸に出願したものは国コード「台湾」または「中国台湾」で抽出できましたが、現在は台湾の国省コード 71（台湾省）でないと抽出できなくなりました。

表 1 は 2022 年公開特許数でソートしたのですが、その TOP10 について出願から 6 か月以内に公開になった超早期公開数を調べたのが表 2 です。こちらは出願年を基準にしているので少々紛らわしいですがご了承ください。

表 1. 中国特許の各国からの公開推移(CNIPR)

	2018	2019	2020	2021	2022
JP	44,609	50,304	48,991	47,736	46,662
US	39,935	41,019	38,878	41,993	44,057
KR	14,251	14,909	17,111	17,039	18,384
DE	15,708	16,662	16,450	16,612	15,938
FR	5,049	4,908	5,154	5,008	4,996
CH	3,840	4,003	3,806	4,238	4,714
NL	3,511	3,479	3,189	3,170	3,128
GB	2,767	2,995	2,987	2,969	2,845
SE	2,278	2,671	2,424	2,586	2,543
SG	1,472	1,283	1,343	1,574	1,862
IT	1,944	1,882	1,758	1,943	1,819
IL	1,028	1,048	1,035	1,136	1,326
KY	3,102	5,422	3,599	3,289	1,309
DK	952	1,029	1,017	1,128	1,236
CA	1,088	1,178	1,113	1,201	1,167
AT	1,033	1,047	1,031	1,017	1,037
FI	923	969	961	1,088	978
BE	876	817	757	763	821
AU	764	771	740	751	688
IE	368	444	517	493	528
IN	326	351	326	327	341
NO	284	295	297	300	289

表 2. 各国出願の超早期公開状況(CNIPR)

出願年	2018	2019	2020	2021	2022
not CN	1682	3049	1613	1870	1461
JP	87	148	178	179	164
US	173	239	347	307	172
KR	85	94	99	112	82
DE	118	237	259	264	279
FR	19	15	25	37	4
CH	12	13	20	19	29
NL	1	6	14	7	34
GB	29	19	28	41	29
SE	12	6	3	1	1
SG	281	352	341	583	260
IT	1	2	4	7	4
IL	1	2	10	5	1
KY	757	1779	79	70	73
DK	1	2	0	6	13
CA	37	40	39	34	20
AT	0	2	3	1	1
FI	1	1	3	8	0
BE	3	4	1	2	1
AU	14	19	44	12	15
IE	2	2	2	4	0
IN	1	0	5	1	6
NO	1	2	5	1	0

「not CN」は外国からの超早期公開出願総数です。DE, SG, KY が比較的多く、また、KY(ケイマン諸島)の出願の主なものは、阿里巴巴(ALIBABA)ですが、超早期公開特許の所属国推移に変化が表れていることは後述。

(2)中国特許上位出願人の超早期公開特許

2022年公開数1000件以上の外国出願人の公開推移を表3に示しました。

表3. 中国特許上位出願人の公開推移

	2018	2019	2020	2021	2022
阿里巴巴	2,665	4,912	3,195	3,186	3,767
三星电子	3,335	3,309	3,589	3,441	3,128
高通股份	1,767	1,799	1,762	1,650	2,963
丰田自动车	1,771	2,799	2,413	2,294	2,804
三星显示	938	1,265	2,063	2,071	2,431
罗伯特·博世	1,592	1,748	2,082	1,847	1,949
台湾积体电路制造	726	1,305	1,393	2,132	1,819
三菱电机	1,533	1,805	1,699	1,657	1,654
LG新能源 or LG化学	1,097	1,117	1,638	2,004	1,598
西门子	1,197	1,444	1,437	1,515	1,537
本田技研	972	1,689	1,915	1,527	1,476
现代自动车	1,131	886	1,197	1,148	1,348
松下知识产权经营	1,207	1,446	1,252	1,313	1,338
LG电子	702	882	1,018	911	1,220
苹果公司	512	753	938	1,196	1,203
索尼公司 or 索尼集团	1,164	1,145	1,111	1,250	1,081
英特尔	1,656	1,447	952	952	1,049

表4. 中国特許上位出願人の超早期公開出願状況

	2018	2019	2020	2021	2022
阿里巴巴(KY)	708	1,740	56	1,010	2,433
三星电子(KR)	0	137	132	121	106
高通股份(US)	0	0	0	0	0
丰田自动车(JP)	0	0	0	0	0
三星显示(KR)	0	1	1	0	0
罗伯特·博世(DE)	0	0	1	0	2
台湾积体电路制造(TW)	0	0	0	513	653
三菱电机(JP)	0	8	3	12	19
LG新能源 or LG化学(KR)	0	2	4	0	0
西门子(DE)	37	62	102	150	227
本田技研(JP)	0	1	2	5	8
现代自动车(KR)	0	0	1	4	0
松下知识产权经营(JP)	0	0	0	0	0
LG电子(KR)	0	0	0	0	0
苹果公司(US)	1	9	5	2	0
索尼公司 or 索尼集团(JP)	0	0	0	0	1
英特尔(US)	19	26	7	11	14

表4において、ある程度の超早期公開出願が顕出されている以下の4社はいずれも中国現地子会社と本体との共願または中国現地子会社の単願となっています。

- ・三星電子(KR)：三星(中国)半導体, 三星電子(中国)研发中心
- ・三菱電機(JP)：三菱電機(中国), 上海三菱電機・三菱空調機電器(CN)
- ・西門子(DE)：西門子電力自動化有限公司(CN), 西門子(中国)
- ・英特爾(US)：英特爾產品(成都), 英特爾半導體(大連)

阿里巴巴(KY ALIBABA)は実質的には中国国内で活動していますが、特許の所属国は従来からタックス・ヘイブンで知られているKY(ケイマン諸島)です。

しかし、派手な活動で当局から目を付けられたせいでしょうか、2021年出願からKYからの出願をCNやSGに所属国変更しているようです。

表5. 阿里巴巴(ALIBABA)の超早期公開所属国の変化

	2018	2019	2020	2021	2022
KY全体	757	1,779	79	70	73
阿里巴巴(all)	708	1,740	56	1,010	2,433
阿里巴巴(KY)	702	1,718	53	28	5
阿里巴巴(CN)	6	22	3	731	2,406
阿里巴巴(SG)	0	0	0	251	22

(3)その他、超早期公開が比較的多いところ

公開件数としては1000件未満でもある程度の超早期公開出願をしている各社を表6に示した。

表6. その他、超早期公開が確認できる各社

	2018	2019	2020	2021	2022	
友達光电	375	441	375	351	347	TW AU OPTRONICS
百果园技术	0	0	115	214	190	SG BAIGUOYUAN TECHNOLOGY
梅赛德斯-奔驰	0	0	0	0	185	DE MERCEDES-BENZ
通用汽车	21	52	63	57	65	US GENERAL MOTORS
戴姆勒	48	88	119	138	56	DE DAIMLER
株式会社万代	11	16	35	49	50	JP BANDAI
支付宝实验室	0	17	0	22	49	SG ALIPAY LAB
远景智能国际	0	21	18	58	44	SG ENVISION INVESTMENTS
脸萌有限	0	0	28	47	40	KY FACE GERMINATION
谷歌	1	17	84	45	34	US GOOGLE
舍弗勒技术	60	110	116	81	32	DE SCHAEFFLER TECHNOLOGIES
VIDAA	0	0	29	56	32	US VIDAA
奇鋳科技	24	26	22	17	28	TW ASIA VITAL COMPONENTS
三星电机	0	2	0	1	28	KR SAMSUNG ELECTRO-MECHANICS
台达电子	9	19	30	26	21	TW DELTA ELECTRONICS
京瓷办公信息	6	18	10	7	21	JP KYOCERA DOCUMENT
住华科技	18	12	15	18	19	TW SUMIKA TECHNOLOGY
商汤国际	0	0	7	58	16	SG SENSETIME PVT

表4同様、通用汽車はいずれも中国現地子会社と本体との共願または中国現地子会社の単願となっています。

・通用汽車(US)：上汽通用汽車

通常出願数が1000件未満で超早期公開が確認できる各社においては、中国現地子会社との共願もありますが、友達光电(TW AU OPTRONICS)などの台湾勢や梅賽德斯-奔馳(DE MERCEDES-BENZ), 戴姆勒(DE DAIMLER), 谷歌(US GOOGLE), 舍弗勒技術(DE SCHAEFFLER TECHNOLOGIES)などの著名な各社からの単願出願も確認できます。

また、台湾出願人については表3、表4の台湾積体電路製造を含め、表6においても2020年出願以降は大陸特許では所属国がTW ⇒ CNに変更となっています。

5. まとめ

超早期公開特許の外国からの出願数は内国出願人に比べかなり少なく、特に、通常出願1000件以上の出願人においては中国現地子会社との共願(単願を含め)を除き、ほとんどない、といっても過言ではない。

また、阿里巴巴(KY ALIBABA)がKYからCNに2021年出願以降、所属国変更をしていることが若干注目される。

参考文献：

- 1) 早期公開・登録および遅延公開をめぐる東アジア各国の諸問題(INFOPRO 2011)
http://patentsearch.punyu.jp/asia/INFOPRO2011earlypub_pre.pdf (予稿)
<http://patentsearch.punyu.jp/asia/INFOPRO2011earlypub.pdf> (発表資料)
- 2) 中国における早期公開・早期登録特許の実態(パテント誌 2014)
https://jpaa-patent.info/patents_files_old/201407/jpaapatent201407_079-085.pdf
- 3) 中国早期公開特許の最新動向(特許懇 No.292 2019)
<http://patentsearch.punyu.jp/asia/tokugikonNo.292.pdf>
- 4) 中国早期公開特許(検索 Tips 2020/7/27)
http://patentsearch.punyu.jp/asia/CN_early2020.pdf
- 5) 中国専利出願推移 (CNIPA 統計情報)
<https://www.cnipa.gov.cn/tjxx/jianbao/year2022/a.html>
- 6) 中国特許情報の最新動向：非正常出願の実態(Japio YEARBOOK2022)
https://japio.or.jp/00yearbook/files/2022book/22_2_04.pdf

以上